

はじめに

正誤問題をいやがる受験生の気持ちはよくわかりますが、過去問を見ても、超難問もあれば平易なものもある。そこで、高得点を確保するためには避けて通れません。

「正誤問題に強くなるために、何かいい問題集は？」

「正誤問題が不得意なんですけど、いい勉強方法は？」

といった質問はあとを絶ちません。まさか、

「正しい知識があればだいじょうぶ」

などと、当たり前のお返事で逃げるわけにもいかない。

そこで、企画されたのがこの問題集です。改訂を重ねながら、10年以上にわたって受験生に支持され続けてきたのは、やはり、「正誤問題」が一番気になる出題形式だからでしょう。

そこで、今回、近年の出題傾向を反映させるために改訂を加えるとともに、総合問題を新たに採用し、再出発することとしました。正誤問題の解法は、

明確な間違いを探せ！

という点に尽きるのですが、それを実感できるのは、実際に多くの問題を解いたあとです。理屈ではなく、経験でこのことを納得してもらうしかありません。しかも、誤文は簡単に指摘するだけでなく、その理由を丁寧に知らなければ演習の効果は現れません。自分で、誤りの箇所を発見してから解答をチェックし、その上で、解説を読んでください。そして、できなかった問題について、その原因を考えて、そのテーマについて復習していくことで、飛躍的に日本史の得点力は伸びるはずです。

目 次

第1章 古 代 (35題)7

- ①原始・古代の社会 ②縄文文化 ③④弥生文化(1X2) ⑤弥生農耕 ⑥中国史書 ⑦邪馬台国 ⑧⑨倭の五王(1X2) ⑩前期古墳 ⑪古墳文化 ⑫大和政権 ⑬呪術的な習俗 ⑭憲法十七条 ⑮壬申の乱 ⑯律令法典 ⑰戸籍制度 ⑱律令税制 ⑲律令制度 ⑳平城京 ㉑8世紀の外交 ㉒奈良時代の仏教と政治 ㉓奈良時代の土地・税制 ㉔国域の拡大 ㉕国司制度の変容 ㉖初期荘園 ㉗金石文と木簡 ㉘平安京 ㉙健甕制 ㉚光仁・桓武朝 ㉛承平・天慶の乱 ㉜院政期の諸相 ㉝古代政治史総合 ㉞荘園・公領制の成立 ㉟寄進地系荘園

第2章 中 世 (32題)23

- ①鎌倉・室町幕府の財政 ②③北条氏(1X2) ④承久の乱 ⑤⑥御成敗式目(1X2) ⑦地頭の荘園侵略 ⑧⑨元寇(1)(2) ⑩鎌倉後期の政治 ⑪永仁の徳政令 ⑫⑬建武新政(1X2) ⑭室町幕府の成立 ⑮守護と国人 ⑯足利氏(1) ⑰足利義満と日明貿易 ⑱勘合貿易 ⑲⑳足利氏(2X3) ㉑惣の発達 ㉒徳政一揆 ㉓一向一揆 ㉔日朝貿易 ㉕倭寇 ㉖14世紀の東アジア ㉗中世貿易 ㉘戦国大名 ㉙⑩分国法(1X2) ㉚中世の沖繩 ㉛中世の北海道

第3章 近 世 (33題)39

- ①織田信長と堺 ②太閤検地 ③刀狩令 ④豊臣秀吉の内政 ⑤豊臣秀吉の対外政策 ⑥大坂の陣 ⑦武家諸法度 ⑧参勤交代 ⑨近世の天皇 ⑩大名統制と改易 ⑪幕府の対外策 ⑫近世の農具 ⑬近世の農業 ⑭絹織物業 ⑮近世の漁業 ⑯江戸と大坂 ⑰⑱徳川綱吉(1X2) ⑲正徳の治 ⑳㉑享保改革(1X2) ㉒年貢の収納 ㉓衣服と染料 ㉔幕藩体制の動搖 ㉕江戸時代の事件 ㉖列強の接近 ㉗江戸時代の北方関係 ㉘幕政批判と弾圧 ㉙天保改革 ㉚幕末期の改革 ㉛雄藩の台頭 ㉜天領と年貢収納の推移 ㉝貨幣改鋳の歴史

第4章 近現代 (51題).....57

-
- ①ペリーの来航 ②開国 ③文久の幕政改革 ④幕末開港貿易 ⑤封建制度の撤廃 ⑥秩禄処分 ⑦近代の沖縄 ⑧殖産興業 ⑨通貨制度の近代化 ⑩岩倉遣外使節団 ⑪明治7年の出来事 ⑫日朝修好条規 ⑬⑭三大事件建白運動(1)(2) ⑮民法 ⑯天津条約 ⑰下関条約 ⑱超然主義 ⑲資本主義の成立 ⑳軽工業の近代化 ㉑農業の変質 ㉒㉓ポーツマス条約(1)(2) ㉔鉄道の発達 ㉕南満州鉄道株式会社 ㉖韓国併合 ㉗大戦景気 ㉘原敬内閣 ㉙大正デモクラシー ㉚民本主義 ㉛大戦後の経済 ㉜選挙法の改正 ㉝近代的貨幣制度の確立 ㉞大日本帝国憲法下の内閣 ㉟斎藤実内閣 ㊱国家総動員法 ㊲日米開戦 ㊳㊴戦後の民主化(1)(2) ㊵占領行政 ㊶戦後の政治 ㊷戦後の経済 ㊸サンフランシスコ平和条約 ㊹国際社会への復帰 ㊺南北朝鮮の分断 ㊻沖縄の祖国復帰 ㊼高度経済成長 ㊽池田勇人内閣 ㊾田中角栄内閣 ㊿戦後の経済成長 ㉟労働運動

第5章 総合問題(2題).....87

-
- ① 2015 センター試験 ② 2014 センター試験

28 幕政批判と弾圧

次の文章①～④は、19世紀前半におこった政治批判にかかわる事件を述べたものである。そのうち正しいものを一つ選べ。

- ① もと大坂の町与力であった一洋学者が、飢饉の窮状を救うために、門人などを率いて挙兵し、市内の豪商を襲った。
- ② 大坂でおこった事件について、越後にいたある国学者が悪政を憤り、同志とともに乱をおこした。
- ③ モリソン号事件を機に、渡辺崋山・高野長英・杉田玄白ら洋学者のグループが、幕府の鎖国政策を批判して厳しい処罰を受けた。
- ④ 尊王論者山県大弐が、神道や儒学の書を多くの公家に講じたことから、幕府の取調べを受け、処罰された。

29 天保改革

幕府の天保改革の政策について述べた次の①～④の短文のうち、正しいものをすべて選べ。(順序は問わない)

- ① 農村の荒廃を回復するために、幕府は、江戸に流入した離村者を農村に返そうとして、人返しの法を出した。
- ② 物価を引き下げ、かつ旗本・御家人の負債を解消するために、幕府は、十組問屋など株仲間の解散を命じた。
- ③ 幕府は、江戸・大坂周辺の大名領を取り上げ、それを旗本に配分する上知令を発したが、大名などから反対され、これを撤回した。
- ④ アヘン戦争の結果を知った幕府は、1825(文政8)年の異国船打払令を停止し、薪水給与(供与)令を出して、外国との衝突を避けようとした。

これも受験日本史の定番。㉔でもやりました。

- ③× 杉田玄白が誤り。蛮社の獄は1839年。杉田玄白は1817年に死んでいます。玄白が前野良沢らと訳述した「解体新書」が刊行されたのは1774年。「蘭学事始」は晩年の1815年です。杉田玄白は蘭学の確立期の学者です。
- ④× 時代がチガウ。18世紀中期の事件です。

㉔ 天保改革

解答 ①・④

まず、答えを1つ選んだ人はアワテモノ。正しいものをすべて選ぶ。

「天保改革」のような超基本的テーマになると、誤文も微妙になってきます。

①「人返しの法」、②「株仲間解散令」、③「上知令」、④「天保の薪水給与令」は全部、水野の天保改革です。

ここからが問題ですよ。

- ①○ 目的は「天保の大飢饉」による農村の復興。教科書通り○。
- ②× 旗本・御家人の負債を解消が誤り。株仲間解散令の目的は「物価引き下げ」。「旗本・御家人の負債解消」のためと言えば→「棄捐令」。
- ③× 旗本に配分するが誤り。江戸・大坂周辺を幕府の「直轄地」に編入しようとしたのです。
- ④○ これは大事。1840～42年の「アヘン戦争」は天保改革(1841～43年)と1年ズレて重なっているのです。すぐ覚えましょう。

㉕ 幕末期の改革

解答 ③

- ①× 渡辺崋山を重用が誤り。崋山は蛮社の獄で幕府に弾圧されました。
- ②× 屯田兵が誤り。屯田兵は明治時代。士族授産の意味もあって、北海道の開拓と国防を担ったのが屯田兵です。
- ③○ 正しい。長崎の防備を担当した佐賀藩は、最初に反射炉を導入したことで有名。
- ④× 徴兵令が誤り。これも②と同様時代が違う。徴兵令は明治政府ですね。もともと長州藩では、身分にとらわれない奇兵隊が組織され、活躍しましたが、これも義務として兵役を課す徴兵ではありません。

㉖ 雄藩の台頭

解答 ④

最後にとはけた誤文があるので①～③で頭をひねって損した感じになってしまいます。

- ①○ 下級武士から人材を登用、借金の踏み倒し、専売という藩政改革の典型。薩摩藩はほかに琉球との貿易の利がありました。
- ②○ 上杉治憲(鷹山)は名君の代表。藩校「興譲館」の再興でも頻出。